

区のお知らせ

足立区企画室

足立区千住一丁目50
☎ (882) 1111

あすの足立区建設へ

44年度 予算総額 152億4000万円

昭和44年度の足立区予算総額は、7月現在（補正予算第2号まで）、国民健康保険・用地両特別会計を含めて152億4327万円にのぼっています。このうち、道路の整備や保育園、学校建設などに使われる一般会計は、126億3224万円で、43年度

の同期より約10億8000万円、9%の増。国民健康保険特別会計は、24億1074万円で、前年同期より約4億円、26%の増、用地特別会計は、2億0030万円を計上しました。

区税の収入…31億1000万円…

特別区交付金…53億7000万円…

区独自の収入には、特別区税、財産収入、諸収入などいろいろありますが、このうち、いちばん大きな比率を占めているのが区民税を主体とした特別区税です。足立区は、この区税収入が他区に比べて非常に少なく、31億1879万円で、一般会計126億3224万円の25%しかありません。足立区のように区税収入の少ないところもあれば、区税が多くはいる区もありますので23区間で財政を調整して均衡をはかるため、少ない区はこれを交付金として受けます。足立区は、この特別区交付金をいちばん多く受けていて、53億7080万円にもなります。その原因は、①所得の少ない人が多く住んでいるため、区民税の収入が少ない。②区外へ勤めに出る人が多いため、たばこの売上げが少なく、たばこ消費税が少ない……などがあげられます。

（ハイライト1日1箱吸う人は、年に4,810円ものたばこ消費税を納めることになります。この大きな財源も、他の区内でたばこを買われますと、足立区の収入にはなりません。ですから、どうせ買うなら、ぜひ足立区内で買ってください。）

国庫支出金……地方公共団体（都や区市町村）が行なう事業に対して、国が負担金・補助金・委託金などの形で支出する金で、使いみちが決められています。大きいのは生活保護費・保育所費・養護老人ホーム費など、民生費の負担金で、約24億1300万円、学校給食扶助費などの教育費補助金が約1億円。

特別区交付金……都と区、および区相互間の財政上の均衡を図るための交付金で、足立区のように、区税の収入が仕事に必要な費用を下回る区は交付金を受けることになっています。

特別区税……区民税、軽自動車税、たばこ消費税、電気ガス税の収入を合わせたものです。

区民税	20億4066万円
軽自動車税	6218万円
たばこ消費税	5億4097万円
電気ガス税	4億7499万円

住みよい町づくりの建設事業に

36億3700万円

足立区は、これからどんどん開発されていく地域。その人口増加はとどまるところを知らません。現在55万にふくれあがって、23区中第3位の人口になりました。人口がふえれば、道路や排水路の

整備、学校・保育園・公園など、都市としての機能が必要となります。一般会計の中で、これらの建設事業に36億3700万円を計上しています。こうした行政施設は、はやめに手を打たないと将来に禍根を残すことになりすから、年次計画をたてて、住みよい町づくりにつとめています。とくに用地はなかなか入手困難なので、用地特別会計で2億円を用意し、その取得につとめています。

道路などの補修や施設の維持に

5億円

現在区道の延長は720キロ。この長さは東京一岡山の距離に匹敵します。自動車がふえて、道路の痛みもはげしくなっていますので、道路パトカーは終日区内をまわって破損個所の補修につとめています。水路も農業用から公共溝渠に、木橋はコンクリート橋に改修。また、学校や保育園などの施設の維持・補修も数が多いだけにばかになりません。

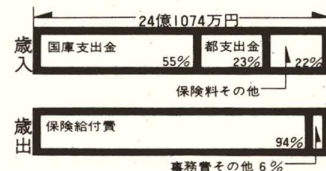
生活や教育の扶助費が

31億9400万円

足立区は生活保護を受けている世帯が23区中いちばん多く、4月現在で約6700世帯あり、その他教育関係で扶助しなければならない世帯も多数あ

国保特別会計

この会計は、国民健康保険に加入しているかただけを対象としているもので、みなさんが支払う保険料と、国からの負担金、補助金、都からの交付金などがおもな歳入です。歳出は、お医者さんにかかったときなどに支払う療養給付費や、赤ちゃんが生まれたときの助産費、育児手当金、それに葬祭費などの保険給付費がおもなものです。そのほか、無料健康相談や健康家庭の表彰などの保健衛生普及費があります。



用地特別会計

施設の建設用地を安く早く入手するための会計で、歳入は財産収入から2億円諸収入から30万円、合計2億0030万円で全額用地の買収費として使われます。

ります。

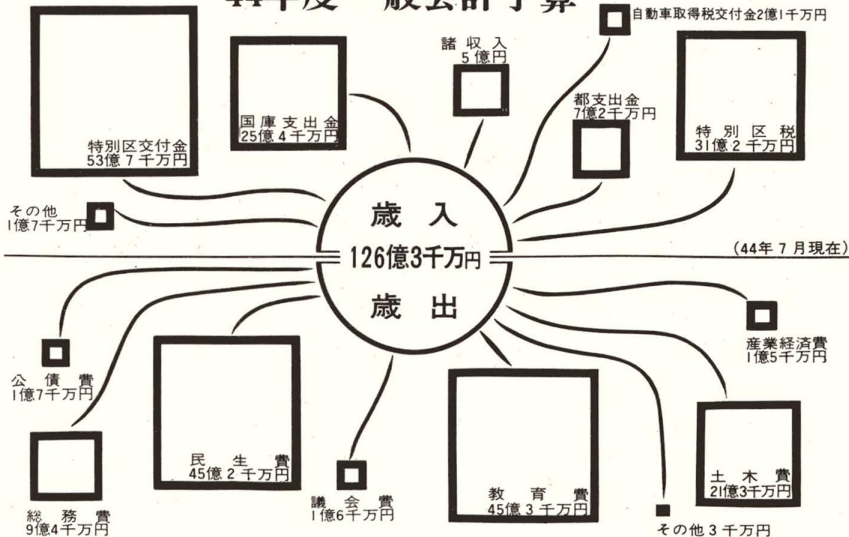
国民には勤労の権利と義務がありますが、病気やケガなどで働けなくなったりして、経済的に生活が困った場合、国や都・区によって生活費などが扶助されます。これらの扶助は、生活・住宅・教育・医療・出産・生業・保育・身心障害・高齢などさまざまな形で行なわれ、そのための費用は31億9400万円にのびります。

膨大な事務・事業量に

53億0100万円

人口55万の大世帯ですから、事務事業が膨大でこれに要する人件費・物件費も多額にのぼっています。現在区には、事務・技術・保母・学校職員（教員は除く）など約3000人も職員がおり、区議会議員・行政委員など全部の人件費を合わせると27億9100万円、物件費等が25億1000万円になります。

44年度一般会計予算



区のお知らせ

区政三本の柱で 予算編成

足立区は、41年度から終始一貫して、「生活環境の整備」「青少年の健全育成」「社会福祉の充実」という三大重点施策を区政三本の柱とし、これに伴う行政施設建設五か年計画をおし進めています。ことしは、この計画の第4年次になるわけですが、その予算から特色のある事業を拾い出してみました。

生活環境の整備に

11億1662万円

■交通安全対策

- 竹の塚4～5丁目に横断歩道橋 700万円
- ガードレール 8000m 2160万円
- 通学路の補修に 1583万円
- 車両制限令標識 80本 39万円
- 水路にふたがけし通学路用の歩道をつける
中川一～二丁目ほか 1930m 5960万円
- 安全通学運動や地域交通安全運動に 594万円
- みどりのおばさんを増員 30名 796万円

■道路・水路の整備

- 道路 136,225m²を中級舗装 2億4010万円
- 梅田五丁目ほか3か所の道路拡幅 1467m 1億7200万円
- 梅田町ほか4か所の側溝新設改良 2666m 1866万円
- 私道の整備・排水設備等の助成 1250万円
- 竹の塚堀ほか18か所の水路改良 2億9300万円

■災害対策や公害対策

- 加平排水場ほか4か所の施設整備 3460万円
- 六ツ木第一水門ほか5か所の水門改修 410万円
- 北千住駅西口防災街区造成を助成 1019万円
- 公害対策費用 195万円

■公園等の整備

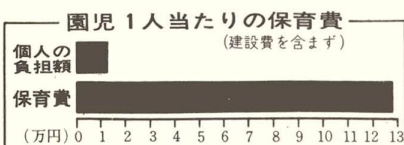
- 諏訪木公園ほか20か所の新設・改良 1億円
- 公園の緑化に 572万円
- 街路燈、910燈を増設 3705万円

■環境衛生対策

- 害虫とねずみの駆除 2986万円
- バキュームダンパーによる側溝清掃 2218万円

まめちしき

7月現在、区立保育園は26か所あり、約2600人の園児が保育されています。この園児1人あたり、1年間の保育経費と個人の負担金(平均)を比較しますと次のとおり。



青少年の健全育成に

1億8008万円

■遊び場対策

- 児童遊園 本木町一丁目ほか3か所新設、千住弥生東ほか7か所を改良 2500万円
- 本木町二丁目ほか2か所の用地買収 6253万円
- 青少年の集会・遊び場用に小中学校55校を開放 549万円

■特殊学級の充実

- 精薄学級を高野小と東綾瀬中に増設し、既設の各種特殊学級と合わせて39学級 900万円

■体育の振興

- 体育館の整備 274万円
- 平野運動場に更衣室やシャワー室を 461万円

■青少年対策

- 地区の組織活動などに 521万円
- 各種青少年団体の育成 762万円

社会福祉の充実に

4億7290万円

■福祉施設の建設

- 西部区民福祉センターの建設 1億9258万円
このセンターは江北西部区画整理組合が造成中の新しい市街地に建設するもので、福祉事務所・老人センター・児童館・図書室・講習室・区民ホールを併設した鉄筋2階建、延2400m²の施設。〈区民福祉センターは中部・東部について3番目〉

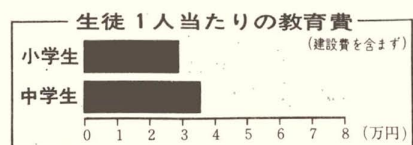
- 保育園の建設 鉄筋2階建て、延680m²、定員150名(内0歳児8名)の保育園を千住東二丁目と栗原町の2か所に建設。五反野保育園を鉄筋3階建て、延1100m²、定員150名(内0歳児8名)、保母寮併設のものに増築。西新井保育園を増築し定員40名をふやす。1億8220万円
- 大谷田母子寮の改築 定員20世帯65名、保育室・学習兼読書室などを設備した鉄筋3階建て、延べ750m²のものに改築 4188万円
- 学童保育の専用施設を島根・保木間・高野の各小学校内に建設 527万円

- 保育児への支援など
- 公私立保育園児に牛乳やおやつを 467万円
- 保育ママさんに児童1人あたり月1200円を助成 43万円
- 保育室(未認可保育所)の運営委託として児童1人あたり月1200円を助成 710万円

- めぐまれない人たちに
- 生活保護世帯の老人(70～74歳)に2000円のおこづかいを支給 130万円
- 生活保護世帯の小中学生に夏休み期間中(40日)牛乳を支給 347万円
- 心身障害児のリクリエーションに 41万円

まめちしき

現在区内には、小学校56校(分校含む)、中学校25校あり、小学生49,174人、中学生19,583人(6月現在)学んでいます。生徒1人当たりの教育費は次のとおり。(うす色は教員の人員費で都執行委任推定額)



よりよい 教育環境に

足立区では、①能力適性の伸長、②健康安全の推進、③情操意志の陶やを、区教育の努力点として掲げ、教育行政を推進しています。こうして心身ともに健全で明るい青少年を育てあげるには、よりよい教育環境をつくる必要があります。とうにもありません。とくに足立区は、地域開発が急速に進んでいますので、学校の新設、増築に力を入れています。と同時に古くなった木造校舎がまだまだありますので、これの改築も急いでいます。7月現在で予算化されたのは次のとおりです。

学校づくりに拍車

- 校地の買収 本木小・宮城小・鹿浜第一小・花畑第一小分校 4校 7639m² 1億9761万円
- 校舎の建設 ()内は教室数
新設 高野小分校(27)、栗島小分校(27) 花畑第一小分校(12)、湖江中分校(24)
増築 西新井第一小(4)、西新井第二小(3) 舎人小(3)、弘道第一小(2)、中川小(12)、花畑小(4)、江北中(8)、東島根中(4)、鹿浜中(4)
改築 西新井小(4)、西新井第一小(4)、関原小(8)、宮城小(6)、大谷田小(6)、梅島小(6)、本木東小(8)、弘道小(6)、千寿旭小(4)、元宿小(9)、北三谷小(9)、五反野小(9) 梅島第二小(8)、梅島第一小(8)、二中(8)、五中(8)、七中(4)、十三中(4)
以上、小学校23校、中学校8校の建設費 14億9910万円
- 学校体育館の建設 西新井小、弘道第一小、中川小、本木東小、高野小、加平小、梅島第一小 以上7校 1億8015万円
- 学校プールの建設 西新井第一小、西新井第二小、竹の塚小、北三谷小、湖江小、第二中、以上6校 7385万円
- 給食場の建設 七中、十三中、湖江中分校 以上3校 4144万円
- 鉄筋校舎の防音設備 梅島第一小 1107万円

まめちしき

現在区内には、公園71か所・児童遊園91か所あり、また、街路燈、防犯燈などがおよそ21,000燈あります。これらの施設に要する経費は…… (ただし、新設・改良・補助などを含む)

